

一般選抜

◎受験上の注意については、15ページをご確認ください。

■ **募集定員** 学部・学科および募集定員(5ページ)を参照してください。

■ 出願資格

次のいずれかに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2022年3月卒業見込みの方
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、または2022年3月修了見込みの方
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの方

■ 入学検定料

【前期日程】

		1出願目	2出願目以降 1学科につき※
A日程(2月1日実施)		30,000円	15,000円
B日程 (2月2日実施)	B日程のみ出願する場合	30,000円	15,000円
	A日程を出願した場合	25,000円※	15,000円

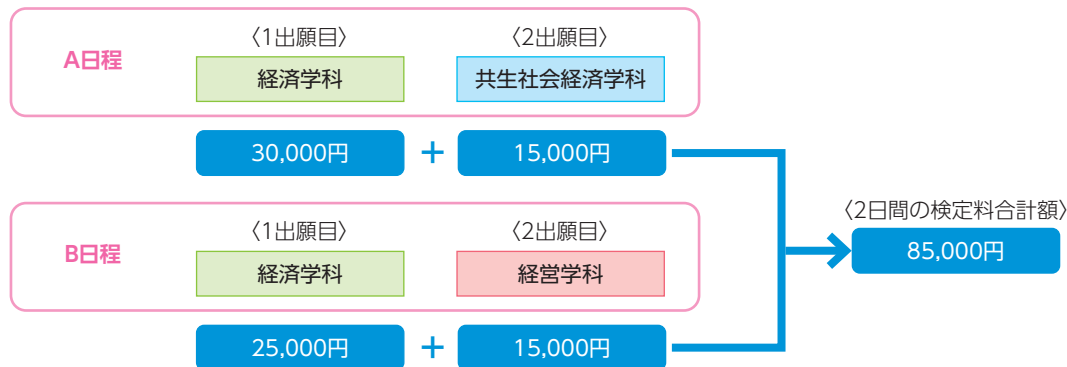
※WEB出願時に同時に申し込んだ場合のみ割引となります。

【後期日程】 30,000円

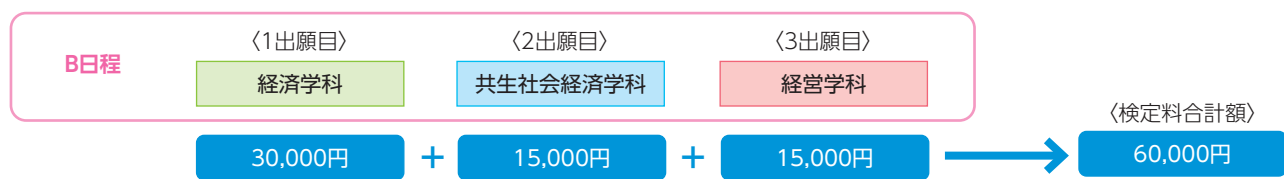
○一般選抜前期日程における「併願割引」の導入について

一般選抜前期日程において、1日につき3学科まで併願することができ、2学科目以降の出願については、「併願割引」を導入します。詳細は下記を参照してください。

【例1】A・B日程の2日間で3学科出願の例



【例2】B日程のみの1日で3学科出願の例



■ 選抜方法

前期日程	3科目の合計点と出願書類により総合的に選抜します。
後期日程	2科目の合計点と出願書類により総合的に選抜します。

【重要点】

① B日程の英語試験について

B日程において、「英語」は受験必須科目となっています。しかし、一定の英語資格・検定試験公式スコアを持っている受験生は、公式スコアの証明書を提出することで、得点換算表の点数と試験日に受験した「英語」の点数を比較して、高得点の方を評価に使用します。公式スコアについては、出願する入試の実施日からさかのぼって、2年以内に受験したスコアが有効です。また、対象となる英語資格・検定試験と得点換算表はホームページ(<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/pdf/guidebook/english.pdf>)で確認してください。

② 一般選抜における出願書類について

出願書類とは調査書と志望理由書です。志望理由書は35ページを参照してください。

③ 英文学科・教育学科・言語文化学科の英語評価について

文学部英文学科・教育学科(前期日程・後期日程)と教養学部言語文化学科(前期日程)では、英語の得点が30点未満の場合には合格できません。

■ 出願期間・試験日・試験場・試験時間・合格発表

		出願期間	試験日	学部・学科	試験場	地区試験場	試験時間	合格発表
前期	A日程	2022年 1月 6日(木)～ 1月17日(月) 15時必着	2月1日(火)	全学部 全学科	土樋 キャンパス	札幌 函館 青森 八戸 盛岡 秋田 山形 鶴岡 福島 郡山 東京	10:30～11:30 英語 12:30～14:30 2科目	2022年 2月15日(火) 14時
	B日程		2月2日(水)					
後期日程		2022年 2月14日(月)～ 2月18日(金) 15時必着	3月4日(金)	全学部 全学科	土樋 キャンパス	なし	10:30～12:30 2科目	2022年 3月14日(月) 14時

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。

合格者には発表当日、合格通知書を発送します。また、14時からは合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

【前期日程】

試験日は2日間です。1日につき3学科まで併願することができます。2日間受験した場合、最大6学科に出願することが可能です。

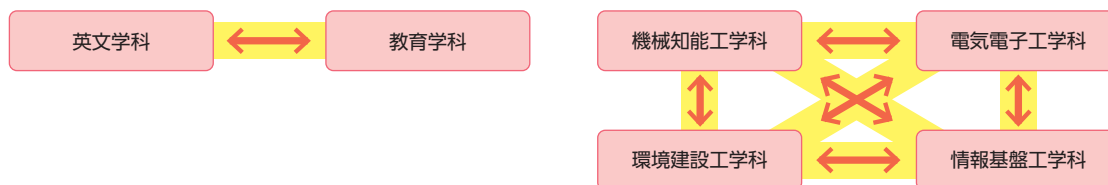
また2日間とも同じ学科に出願することも可能です。なお、2学科目以降の出願については、「併願割引」が適用されます。

【後期日程】

試験日は1日のみです。1学科のみ出願することができ、併願することはできません。ただし、英文学科、教育学科と工学部の各学科を志望する場合、下表の学科間に限り第二志望学科を選択することができます。

○第二志望制について

たとえば、工学部機械知能工学科を受験する際、第二志望学科として電気電子工学科を選択した場合、第一志望で出願した機械知能工学科に不合格の判定でも、第二志望の電気電子工学科に合格となる場合があります。なお、第二志望の入学検定料は無料です。



■ 試験会場

試験場	試験会場	住所
仙台	土樋キャンパス	仙台市青葉区土樋一丁目3-1
札幌	札幌商工会議所(北海道経済センター)	札幌市中央区北一条西二丁目
函館	函館北洋ビル	函館市若松町15-7
青森	アスパム(青森県観光物産館)	青森市安方一丁目1-40
八戸	ユートリー(八戸地域地場産業振興センター)	八戸市一番町一丁目9-22
盛岡	アイーナ(いわて県民情報交流センター)	盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1
秋田	秋田県総合保健センター	秋田市千秋久保田町6-6
山形	大手門パルズ	山形市木の実町12-37
鶴岡	東京第一ホテル	鶴岡市錦町2-10
福島	ラコパふくしま	福島市仲間町4-8
郡山	郡山市労働福祉会館	郡山市虎丸町7-7
東京	TKP新宿カンファレンスセンター	新宿区西新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル

※試験場の地図や詳細はホームページを参照ください。

【注意点】

①仙台会場以外の試験場について

仙台会場以外の試験会場では、志願者が受入定員を超えた場合、仙台会場(本学土樋キャンパス)や他地区会場での受験となる場合もあります。

②一般選抜前期日程の試験場の選択について

ご自身の住んでいる都道府県以外の地域・都市も選ぶことができます。受験前後の都合によって、一番受験しやすい試験場を選択していただいても構いません。ただし、出願後の試験場変更はできませんのでご注意ください。

試験科目・配点

[前期日程] (試験科目は3科目)

学部・学科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点	
文学部 英文学科 総合人文学科 歴史学科 教育学科 教養学部 人間科学科 言語文化学科 情報科学科 地域構想学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	必須(100点)	合計 300点
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)		
	政治・経済	政治・経済		
	日本史	日本史B	どれか 1科目のみ 選択できる	
	世界史	世界史B		
	地理	地理B		
	数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択		
	物理	物理基礎・物理	どちらか 1科目のみ 選択できる	
化学	化学基礎・化学			
経済学部 経済学科 共生社会経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	必須(100点)	合計 300点
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)		
	政治・経済	政治・経済		
	日本史	日本史B	どれか 1科目のみ 選択できる	
	世界史	世界史B		
	地理	地理B		
	数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択	どちらか 1科目のみ 選択できる	
簿記・会計	簿記・財務会計Ⅰ			
工学部 機械知能工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 情報基盤工学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	必須(各100点)	合計 300点
	数学(必須)	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲から2題(必須) 数学Ⅱ・数学Bと数学Ⅲより2題から1題選択		
	物理	物理基礎・物理	〈機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科〉 「物理」と「化学」から1科目選択(100点)	
	化学	化学基礎・化学	〈情報基盤工学科〉 左の3科目から1科目選択(100点)	
	数学(選択)	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲から3題		

[後期日程] (試験科目は2科目)

学部・学科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点	
文学部 英文学科 総合人文学科 歴史学科 教育学科 経済学部 経済学科 共生社会経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科 教養学部 人間科学科 言語文化学科 情報科学科 地域構想学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	〈英文学科・総合人文学科・教育学科〉 「英語」が必須(100点)、左の残り10科目 から「簿記・会計」、「物理」と「化学」を除く 7科目中1科目選択(100点) 〈歴史学科〉 左の11科目から「簿記・会計」、「物理」と「化 学」を除く8科目中2科目選択(各100点) ただし、1科目は日本史、世界史、地理から 選択必須(2科目選択可) 〈経済学部・経営学部・法学部・人間科学科・ 言語文化学科・地域構想学科〉 左の11科目から「物理」と「化学」を除く9 科目中2科目選択(各100点) 〈情報科学科〉 左の11科目から2科目選択(各100点)	合計 200点
	小論文			
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)		
	政治・経済	政治・経済		
	日本史	日本史B		
	世界史	世界史B		
	地理	地理B		
	数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択		
	簿記・会計	簿記・財務会計Ⅰ		
	物理	物理基礎・物理		
工学部 機械知能工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 情報基盤工学科	工学部 数学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲から2題(必須)、 数学Ⅱ・数学Bと数学Ⅲより2題から1題選択	必須(200点)	合計 300点
	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	1科目選択(100点)	
	物理	物理基礎・物理		
	化学	化学基礎・化学		

- ①工学部の「数学(必須)」および「数学(選択)」について、数学Iからは「データの分析」「課題学習」、数学Aからは「課題学習」、数学Bからは「確率分析と統計的な推測」を除きます。
- ②物理からは「原子」を除きます。
- ③簿記・会計は、「簿記」および「財務会計I」を総合した問題を出題範囲とし、「財務会計I」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とします。
- ④国語と物理・化学はマークシート方式と記述方式の併用で行います。英語はマークシート方式、その他の科目は記述方式で行います。
- ⑤英語のリスニングは、前期日程・後期日程とも行いません。

一般選抜

大学入学共通テスト利用選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

特別選抜

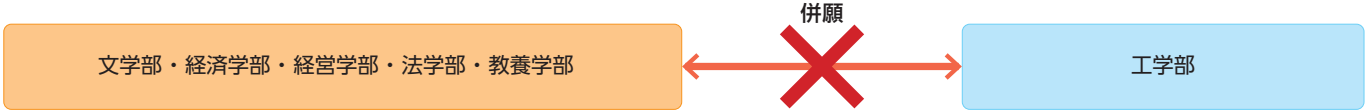
編入学選抜

各種データ

併願制度(一般選抜前期日程)

1試験日につき、最大3学科出願可能です。ただし文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部の各学科と工学部の学科は同日の併願はできません。また併願していても、受験科目に不足がある場合や、志望学科の対象外科目を受験した場合は不合格となります。

①文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部の学科と工学部の学科は併願できません。



②学部・学科ごとの併願条件

志望する学部学科によって、併願条件が異なります。

〈文系学部〉

文系学部		併願可能学科												備考
		文学部				経済学部		経営学部	法学部	教養学部				
		英文	総合人文	歴史	教育	経済	共生社会	経営	法律	人間社会	言語文化	情報科学	地域構想	
文学部	英文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	総合人文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	歴史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経済学部	経済	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	条件①
	共生社会	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	条件①
経営学部	経営	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	条件①
法学部	法律	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	条件①
教養学部	人間科学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	言語文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	情報科学	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	条件②
	地域構想	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

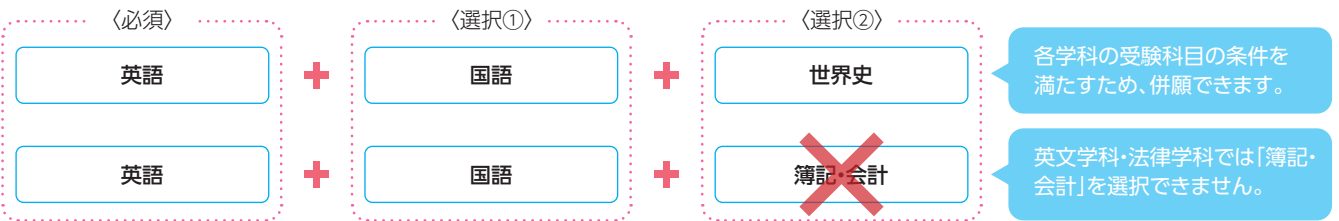
○：併願可能 △：条件付で併願可

【条件①】文学部、教養学部を併願する場合、試験科目で「簿記・会計」の科目を選択しないことを条件に併願できます。

【条件②】文系学部他学科を併願する場合、試験科目で「物理」または「化学」の科目を選択しないことを条件に併願できます。

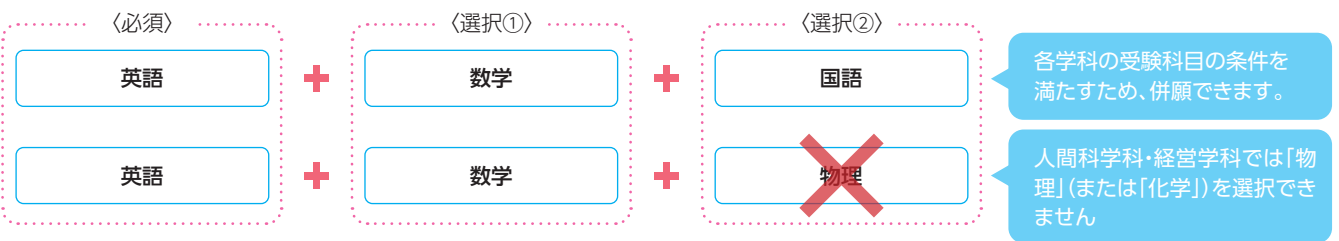
◆条件①の併願の例

第一志望が「経済学科」 + 併願学科「英文学科」 + 併願学科「法律学科」



◆条件②の併願の例

第一志望が「情報科学科」 + 併願学科「人間科学科」 + 併願学科「経済学科」



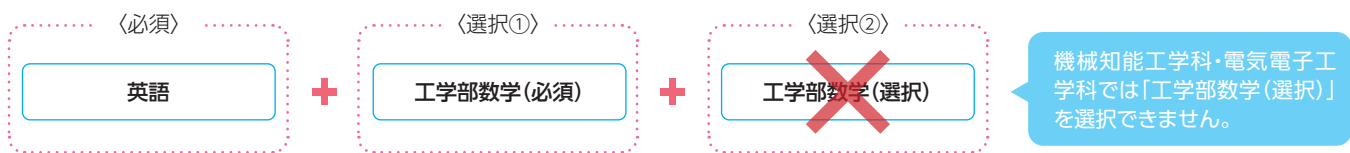
〈工学部〉

工学部		併願可能学科				備考
		工学部				
		機械知能	電気電子	環境建設	情報基盤	
工学部	機械知能	○	○	○	○	
	電気電子	○	○	○	○	
	環境建設	○	○	○	○	
	情報基盤	△	△	△	△	条件③

【条件③】機械知能工学科、電気電子工学科、環境建設工学科を併願する場合、試験科目で「工学部数学(選択)」の科目を選択しないことを条件に併願できます。

◆条件③の併願の例

第一志望が「情報基盤工学科」 + 併願学科「機械知能工学科」 + 併願学科「電気電子工学科」



■入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。詳細は合格通知書に同封される「入学手続要項」をご確認ください。

【前期日程】手続方法には、「全納」と「分納」の2つの方法があり、どちらかを選ぶことができます。

手続方法	締切日	2月22日(火)15時必着	3月10日(木)15時必着
全納		・入学時納付金の全額納入 ・指定書類の提出	—
分納		〈第一次手続〉 ・入学金の納入 ・指定書類の提出	〈第二次手続〉 ・入学金を除く納付金の納入 ・指定書類の提出

【後期日程】3月23日(水)15時必着 入学時納付金の全額を納入し、指定書類を提出します。

【注意】① 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学の意思がないものとみなします。

② 納入金額については、学生納付金等〔2021年度参考〕を参照してください(42ページ)。

③ 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2022年3月31日(木)までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。

■受験上の注意について

- (1) 試験場の下見のため事前に試験場内に入ることは認めておりません。
- (2) 試験開始の30分前までには試験場に入室してください。また、試験当日は、交通機関の乱れなど不測の事態に備えて、時間に余裕を持って行動してください。ただし、試験開始90分前(午前9時)までは入構できません。
- (3) 受験票は、試験当日必ず持参し、入構の際に提示してください。受験票を忘れた場合は、すみやかに係員に申し出てください。
- (4) 試験開始後30分以上遅刻した場合は、理由のいかんを問わず原則として受験できません。ただし、自然災害などの不可抗力の場合は、特別の措置を講じることがあるので、すみやかにアドミッションズ・オフィスまで連絡して指示を受け、試験場到着後ただちに係員に申し出てください。
- (5) 試験場では静寂を保ち、係員、監督者の指示に従ってください。
- (6) 試験場で机の上に置くことができるのは次のものに限りです。
 - ① 受験票(監督者に見やすいように置いてください)
 - ② 鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム
 - ③ 計時機能のみの時計(スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末等の使用は不可)
 - ④ 計算機能のみの電卓〔簿記・会計の受験生についてのみ〕
 - ⑤ ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)
- (7) 英語の試験は、全問マークシート方式です。国語や物理、化学の試験も一部マークシート方式で行います。受験の際は、必ず鉛筆(HまたはHB)と消しゴムを持参してください。
- (8) 解答用紙には、受験番号を正しく記入してください。また、氏名は絶対に記入しないでください。氏名を記入した解答用紙は、採点しないことがあるので注意してください。
- (9) 選択の試験では、選択した科目がわかるように、所定の欄のマークまたは科目名を忘れずに記入してください。
- (10) 問題についての質問は、原則として受け付けません。
- (11) 試験途中の退室は原則として認めません。やむを得ない事情の場合は、監督者の指示に従ってください。
- (12) 不正行為があると認められた受験生に対しては、ただちに受験を停止させ、失格とします。
- (13) 昼休みの時間は短いので、試験当日の昼食は各自持参してください。(前期日程のみ)
- (14) 上履きは必要ありません。
- (15) 試験場は、全て禁煙です。